

会 告

◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月	日	行	事	備	考
11月11日(水)～12日(木)		岩の力学国内シンポジウム		11号	4 ページ参照
11月16日(月)		第9回水理講演会原稿締切		10号	5 "
11月16日(月)～19日(土)		第6回アイソトープ会議		5号	5 "
11月19日(月)～21日(土)		第7回溶射技術講演および研究発表会		11号	9 "
11月25日(木)		土木技術者の活躍と大学土木教育に関するシンポジウム		11号	4 "
11月25日(木)～27日(金)		第11回海岸工学講演会		10号	4 "
11月26日(木)		日本ACI工構造用軽量コンクリート シンポジウム		11号	7 "
11月27日(金)		第11回橋梁・構造工学研究発表会		11号	5 "
11月26日(木)～27日(金)		土質試験法・土質調査法講習会		11号	8 "
11月30日(月)		北海道支部研究発表会論文締切		9号	8 "
12月2日(水)～3日(木)		中国・四国支部第16回学術講演会		11号	10 "
12月4日(金)		滋賀県における最近の諸問題についての講習会		11号	8 "
12月4日(金)		中国・四国支部第4回見学会		11号	10 "
12月5日(土)		第1回衛生工学講演討論会		11号	6 "
12月9日(水)		アルミナセメントについての化学技術者と土木技術者との談話会		11号	7 "
12月15日(火)		第11回風に関するシンポジウム		11号	10 "
12月25日(金)		西部支部研究発表会申込締切		11号	10 "
その他		昭和39年度土木賞について } 昭和39年度吉田賞について }		10号	綴込 "
		土木学会第20回年次学術講演会実施要領について		11号	3 "
		国土開発映画コンクール入選作品決定		11号	1 "
		東京地区巡回映画会 } (11月10日～12月11日) 地方巡回映画会 }		11号	2 "
		水理学および流体力学に関する第2回濠州アジア会議		11号	6 "
		国際水理学会 (IAHR) 第11回大会		11号	6 "
		異形鉄筋に関する第2回シンポジウム		11号	7 "

国土開発映画コンクール入選作品決定

創立50周年記念行事の一つとして実施した「国土開発映画コンクール」は大きな反響をよび、応募作品は、32編の多きをかぞえました。審査委員会は10月5日、6日、8日の3日間にわたって開かれ、上映延時間20時間をついやして慎重な審査が行なわれた結果つぎの6編が入選し、2編が選外佳作と決定しましたのでお知らせします。

最優秀入選	「銀座の地下を掘る」	帝都高速度交通営団
優秀入選	「羽田海底トンネル」	首都高速道路公団
優秀入選	「横山ダム工事」	建設省中部地方建設局
入選	「大阪環状線」	日本国有鉄道大阪工事局
入選	「外洋にいでむ」	鹿島建設株式会社
入選	「海を渡る砂」	株式会社臨海土木工業所
佳作	「海へ伸びる大阪―建設編第2部」	大阪府企業局
佳作	「名神高速道路の舗装」	日本舗道株式会社

巡回映画会について

創立 50 周年記念行事の一つとして実施した「国土開発映画コンクール」の入選作は 1 ページのとおりですが、本会ではこの入選作を全国各地で上映すべく、11 月 10 日より約 1 カ月間、つぎの日程により巡回映画会を開きますので多数ご参加下さるようご案内致します。

東京地区巡回映画会

(近郊地区をふくむ)

月	日	時 間	場 所
1964 年 11 月	18 日 (水)	10.00 ~ 12.00	品川文化会館
	20 日 (金)	"	杉並公会堂
	21 日 (土)	"	大田区民会館
	24 日 (火)	"	世田谷区民会館
	25 日 (水)	"	厚生年金会館小ホール
	28 日 (土)	"	小金井公会堂
12 月	2 日 (水)	13.00 ~ 15.00	川崎労働会館
	8 日 (火)	10.00 ~ 12.00	九段会館
	11 日 (金)	"	豊島公会堂

地方巡回映画会

月	日	時 間	場 所
1964 年 11 月	10 日 (火)	13.00 ~ 16.00	札幌自治会館 (札幌市)
	11 日 (水)	"	釧路市公民館 (釧路市)
	12 日 (木)	"	日の出会館 (仙台市)
	14 日 (土)	13.00 ~ 17.00	北国新聞講堂 (金沢市)
	18 日 (水)	"	高松農協会館 (高松市)
	19 日 (木)	9.30 ~ 11.30	御影公会堂 (神戸市)
	"	13.00 ~ 15.00 15.00 ~ 17.00 17.30 ~ 19.30	生田公会堂 (")
	20 日 (金)	13.00 ~ 15.00 15.30 ~ 17.00 18.00 ~ 20.00	伏見高校 (京都市)
	21 日 (土)	10.00 ~ 12.00	市立都島工業高校 (大阪市)
	"	13.00 ~ 15.00	市立天王寺中学校 (")
	"	15.30 ~ 17.30	児童文化会館 (")
	22 日 (日)	9.30 ~ 11.30 12.30 ~ 14.30 14.30 ~ 16.30	桜宮公会堂 (大阪市)
	25 日 (水)	13.00 ~ 16.00	明治生命ビル (福岡市)
	26 日 (木)	13.00 ~ 17.00	広島公会堂 (広島市)
	27 日 (金)	13.00 ~ 17.00	名古屋工業大学講堂 (名古屋市)

土木学会第 20 回年次学術講演会実施要領について

第 20 回年次学術講演会は、1965 年 5 月 29 日（土）、30 日（日）の両日福岡市九州大学において開催することになり、講演申込み・その他が下記のように決まりましたのでお知らせします。

記

1. 応募要領は期日およびあて先を除いてほぼ例年のとおりとする。
2. 各部門とも研究論文の一部または全部を一般報告に付する。すなわち、同じ種別の論文数編ずつを学会の委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後に質疑討論を行なう。質疑討論の応答には各著者があたる。
講演概要の記述にあたっては、一般報告者がこの概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。
一般報告を行なう論文は本部で決める。
3. 講演概要集はあらかじめ参加者に送付する。発送日は 4 月 20 日とする。
4. 質疑討論を希望するものは、所定の期日（5 月 10 日）までに原則として指定の質問券によって学術講演会係（福岡市箱崎町九州大学工学部土木教室）へ申込み。申込みされた質疑討論の内容はあらかじめ各著者に回付する。時間に余裕がある場合に限り、講演会場で質疑討論の申込みを受けける。
5. 講演題目および著者名等の申込締切期日は学術講演会係宛 1965 年 1 月 15 日（期限厳守）まで
6. 講演概要の提出締切期日は学術講演会係宛 1965 年 2 月 28 日（期限厳守）まで
7. 質疑討論の申込締切期日は学術講演会係宛 1965 年 5 月 10 日（期限厳守）まで
8. 講演会の実施日時 1965 年 5 月 29 日（土）13 時～17 時 5 月 30 日（日）9 時～17 時
9. 実施場所 九州大学

昭和 39 年度土木賞・吉田賞候補募集について

昭和 39 年度土木賞・吉田賞および吉田研究奨励金候補の募集要項は本誌 10 月号綴込でお知らせしましたので、同募集要項をご参照のうえ多数推薦または応募されますよう希望いたします。

なお、推薦または応募に必要な関係書類は土木学会本部および各支部に準備してありますから、請求して必ずその用紙を使用して下さい。

各支部所在地：本誌 134 ページ参照

締切期日：1965 年 1 月 20 日

提出先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会

水工学シリーズ頒布について

本会水理委員会では先に「水工学に関する夏期研修会」を開催し、水工学シリーズとして全 9 冊のテキストを刊行し現在頒布中ですのでご希望の方は学会編集課までお申し込み下さい。

64-1	開水路流れの基礎理論	京都大学教授	工博	岩佐義朗	著	B 5 判 55 頁
64-2	水文統計論	京都大学教授	農博	角屋陸	著	B 5 判 59 頁
64-3	河床変動論	建設省土木研究所 河川部長	工博	吉川秀夫	著	B 5 判 22 頁
64-4	洪水流出の解析	京都大学教授	工博	石原安雄	著	B 5 判 23 頁
64-5	波動論・付録 (長波とクノイド波の理論)	北海道大学教授	工博	岸力	著	B 5 判 19 頁
64-6	波浪予知論 (風波の発達に関する諸研究について)	九州大学教授	工博	井島武士	著	B 5 判 72 頁
64-7	高潮理論	大阪大学教授	工博	室田明	著	B 5 判 33 頁
64-8	海岸堤防論	京都大学教授	工博	岩垣雄一	著	B 5 判 41 頁

定 価：64-1～64-4 1100 円（千 100 円）、64-5～64-8 1300 円（千 100 円）、全 巻 2400 円（千 100 円）

土木技術者の活躍と大学土木教育に関する シンポジウム開催について

大学土木教育委員会では標記シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1964 年 11 月 25 日（水）
2. 場 所：土木図書館講堂および会議室
3. 日 時：午前—委員会報告と討議

9.00～9.20 土木技術と大学土木教育に関する従来の討議
 9.20～9.40 土木技術者の活躍状況
 9.40～10.00 講座構成と学生数の変遷
 10.00～10.20 大学土木教育に関する一般的希望
 10.20～10.40 求人立場から見た大学土木教育
 10.40～10.00 大学院の役割とその将来
 11.00～12.00 討議

委員長 米 屋 秀 三
 委 員 増 岡 康 治
 委 員 丹 羽 義 次
 委 員 堺 毅
 委 員 小 河 原 藤 吉
 委 員 嶋 祐 之

午後—講演

13.00～14.00 現代社会における土木技術者の役割
 14.00～15.00 土木技術者の未来像
 15.00～16.00 大学土木教育のあり方

西松建設KK副社長 西 松 醇 厚氏
 日本大学名誉教授 鈴 木 雅 次氏
 早稲田大学教授 沼 田 政 矩氏

夜—懇 談 会

17.00～19.00 （参加費 500 円）

4. 申込方法：(1) 官製はがきに氏名、年令、勤務先をご明記のうえ 11 月 15 日までに必着のよう土木学会宛お申込み下さい。
- (2) お申込みを受理いたしました方には受理通知を差上げます。
- (3) 懇談会に参加の方は参加費を添えて上記の期限までに書留でお申込み下さい。

“岩の力学” 国内シンポジウム（1964）開催について

土木学会岩盤力学委員会では今年度は毎年行なっております岩盤力学に関するシンポジウムにかえて、標題のシンポジウムを共催で開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1964 年 11 月 11 日（水）、12 日（木）の両日
2. 場 所：東京・有楽町・毎日ホール（毎日新聞社内）
3. 共 催：土木学会・日本鉱業会・土質工学会・日本材料学会
4. 参 加 費：1000 円（講演集代をふくむ）
5. 申込方法：(1) 官製はがきに氏名、年令、通信先、勤務先をご明記のうえ 10 月 15 日までに必着のよう土木学会宛お申込み下さい。
- (2) 定員がありますのでお申込みを受理いたしましたところで共催学会で連絡のうえ、参加可能な場合には締切期日後 10 日以内に受理通知を差し上げますからそれにより参加費をお払込み下さい。
 （お申込みなしの当日参加はご遠慮下さい）
- (3) 参加費を収納いたしましたならば折返し参加証をお送り致します。
6. 懇 親 会：11 月 11 日（水）の夜懇親会を開催する予定です（参加費 700 円程度）。参加希望者はお申込みに併記してお申出下さい。
7. 講演時間、題目および講師：本誌第 49 巻第 9 号 3 ページ参照

構造物、とくに高層長大スパン 構造に加わる 外力と構造設計に関する研究発表会プログラム (第 11 回橋梁・構造工学研究発表会)

共 催：日本学術会議 橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会

日 時：1964 年 11 月 27 日（金）9 時 30 分より

会 場：日本建築学会会議室（東京・西銀座）

会 費：聴講無料、ただし講演概要を当日会場にて実費頒布

講演内容および時間：

講演番号	時 間	題 目	発 表 者
	9.30～9.35	開会のことば	橋梁構造研連委 幹事長 平 井 敦
1.	9.35～9.50	海峡連絡橋の耐風設計基準案について	{東大土研 平井保 忠 敦良 建土研 ○大久保 利一 敦功
2.	9.50～10.05	変動風による吊橋の不規則振動に関する一実験	{東大土研 平岡 井内田 樋 利一 敦功 中大土研 ○宮小 間内 弘功 石川島技研 ○竹岡
3.	10.05～10.20	吊橋の風圧による横座屈	{中大土 竹岡 間内 弘功
	10.20～10.35	討 議 (1.～3.) 休憩	
4.	10.35～10.50	長大橋梁の設計震度について	{建土研 高久 田孝 信良 " " ○栗 保林 栄 一 " " 平深 井谷 俊繁 明一 東大土研 交通技術 ○西日 置 克 幸
5.	10.50～11.05	吊橋主塔および橋脚の耐震設計について	{国鉄構設 西田 村島 俊二 夫 " " ○阿 部 英 彦
6.	11.05～11.20	鉄道用長径間吊橋の試設計	
	11.20～11.35	討 論 (4.～6.) 休憩	
7.	11.35～11.50	不規則吊材を有する吊橋の解法	宮地鉄工 後 藤 茂 夫 日本鋼管 ○中三 山神 義昭 昭五
8.	11.50～12.05	長大スパンカンチレバー橋の構造設計について	横河橋梁 友 永 和 夫
9.	12.05～12.20	不静定構造物において温度応力を生ぜしめない方法	
	12.20～12.30	討 議 (7.～9)	
	12.30～13.30	中 食・休 憩	
10.	13.30～13.45	35 階ビルの耐震設計に関する考察	{鹿島建設 武蔵 藤 清 山下設計 大 藤 安 平 東大震研 太 田 外 胖 鹿島技研 ○梅 村 明 魁 " " 柴 岡 秀 德 " " 岡 小 高 昭 降
11.	13.45～14.00	超高層建築の地震によるせん断力 (6)	{芝工大 小鈴 高木 昭孝 夫 " " ○中 木 威 明 " " 仲加 藤 威 雄 東大建 湯 浅 丹
12.	14.00～14.15	高層建物の地震波による応答解析	
13.	14.15～14.30	電氣的等価回路による建物の振動解析	
	14.30～14.45	討 議 (9.～13.)	
14.	14.45～15.00	コアを有する超高層建築の耐震解析について	東大震研 大 沢 胖 " " 仲加 藤 威 雄 " " ○秋 山 勉 宏
15.	15.00～15.15	耐震壁をもつ高層建物の振動解析	
16.	15.15～15.30	高層架構の最終関節点設計へのアプローチ	{京大建 棚 橋 諒 " " ○中 村 恒 善 " " 仲加 藤 威 雄 東大建 湯 浅 丹
17.	15.30～15.45	接合部パネルの変形とそれを考慮した鋼構造ラーメンの応力解析	
	15.45～16.00	討 議 (14.～17.)	
	16.00～16.10	閉会のことば	橋梁構造研連委 委員長 仲 威 雄

第1回衛生工学講演討論会開催について

第1回衛生工学講演討論会を下記の要領で開催いたします。

かねてより土木学会衛生工学委員会では毎年一定のテーマを決めて講演討論会を開催することを話合っていました。本年度は“下水の生物処理(汚泥をふくむ)に関する研究”の課題で原稿を募集しました。お気軽に多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

1. 日 時: 1964 年 12 月 5 日(土) 9.00~17.00

2. 会 場: 日本都市センター別館講堂

3. プログラム:

9.05~9.15	衛生工学委員会委員長あいさつ	広瀬孝六郎
9.15~10.00	(1) 活性汚泥による生物化学的酸化過程の研究	北大工学部 神山桂一
10.05~10.50	(2) 活性汚泥の代謝特性	京大工学部 合田健・中西弘・吉田作治
10.55~11.40	(3) 下水の好気的処理におけるリン酸根の挙動	栗田工業 関川泰弘・西川正三・岡崎稔
11.45~12.40	(4) エアーレーションタンクにおけるスケールアップの問題	京大工学部 宗宮功
12.40~13.30	昼食・休憩	
13.30~14.15	(5) 産業廃水の生物処理について 一特にフェノール廃水、パルプ廃水について	荏原インフィルコ 井出哲夫
14.20~15.05	(6) 工業廃水を主とした下水の活性汚泥処理に関する実験的研究	建土研 杉木昭典・柏谷衛・中川幸男
15.10~15.55	(7) 散水濾床の機能に関する研究	東北大工学部 松本順一郎・長谷川信夫
16.00~16.45	(8) 汚泥処理よりみたるコンポストイング	荏原インフィルコ 内藤幸穂

4. 参加費: 500 円(講演論文集代を含む)

5. 懇親会: 500 円 講演討論会終了後、日本都市センターにおいて懇親会を開催いたします(会費当日受付)。

6. 参加申込方法: 参加希望者は、11 月 21 日までに参加費を添えて土木学会衛生工学委員会宛お申込み下さい。なお、その際懇親会参加希望者はその旨お書き添え下さい。

国際水理学会(I.A.H.R.)第11回大会

1. 開催地: Leningrad, U.S.S.R.

2. 期 日: 1965 年 9 月 7 日~11 日

3. 課 題: (1) 高速流 (high velocity flow)

開水路の高速流(空気連行), 水理構造物に生ずるキャピテーション, エネルギー減勢の問題を含む

(2) 排水の放出 (outfall of waste water)

(3) 開水路の不定流 (unsteady flow in open channels)

(4) Hydro-elasticity

4. セミナー主題: (1) 河川や貯水池内の流れにおよぼす低温の効果(氷の問題を含む)

(2) 非飽和多孔質媒体内の水の浸透

(3) 海岸での浮遊物質の輸送と拡散

(4) 水力機械における流体力

5. 論文提出期限: 1965 年 1 月 1 日

6. 詳細の問合せおよび出席予定の方は土木学会水理委員会までご連絡下さい。

水理学および流体力学に関する第2回濠州アジア会議

1. 会議開催地: New Zealand, Auckland 大学

2. 期 日: 1965 年 12 月 6 日~12 日

3. 論文提出期限: 題目および概要 1965 年 1 月 1 日 本文原稿 1965 年 3 月 1 日

4. 主 題: 水理学および流体力学に関するもの一般

5. 照会ならびに出席希望の方は土木学会水理委員会までご連絡下さい。

アルミナ セメントについての化学 技術者と土木技術者との談話会

コンクリート委員会 委員長 国 分 正 胤

超早強セメントとしてのアルミナ セメントについて土木技術者の関心が高まっておりますので化学関係の方も混え、下記によりその特性や使用方法などにつき談話会を催します。ふるってご参会下さい。

期 日：1964 年 12 月 9 日（水）13 時より

場 所：土木学会土木図書館講堂

収容人員：200 人（収容人員をこえたと入場できません）

談 話：使用者側よりは建設省、国鉄、地下鉄、その他の方の話。メーカー側よりは関係数社の方の話。それに永井彰一郎博士の話を用意しています。

異形鉄筋に関する第 2 回シンポジウム開催について

異形鉄筋に関する第 2 回シンポジウムを下記により開催いたしますのでご案内いたします。

1. 期 日：1965 年 4 月

2. 場 所：東京都内

3. その他：追って上記シンポジウムの講演募集をいたしますが、申込期限は 1965 年 1 月末の予定です。

構造用軽量コンクリート シンポジウム開催

日本 A.C.I. では標記のシンポジウムを下記のとおり開催しますので多数ご参加下さいますようご案内いたします。なお、本シンポジウムでは 20 編の論文を性質・施工・設計関係に分類し、それぞれつぎの方々の司会により討論を行なう予定です。多数ご参加下さい。

1. 日 時：1964 年 11 月 28 日（木） 9.30～17.50

2. 場 所：東京都港区芝西久保明舟町 17 番地 発明会館ホール（大蔵省印刷局向い）

3. シンポジウム次第：

		総司会	国鉄構造物設計事務所長 河 野 通 之
9.30～9.40	挨拶	会 長	
9.40～11.20	研究発表 10 題（性質関係）		
11.20～12.00	討 論	司会（東大 岸谷孝一、建研 白山和久、国鉄技研 樋口芳朗、日本セメント 山崎寛司）	
13.00～14.30	討 論	（続き）	
14.30～15.30	研究発表 6 題（施工関係）		
15.30～16.20	討 論	司会（建研 亀田泰弘、東北大 後藤幸正、清水建設 近藤芳美、都立大 村田二郎）	
16.20～16.30	（休 憩）		
16.30～17.10	研究発表 4 題（設計関係）		
17.10～17.40	討 論	司会（明大 小倉弘一郎、建研 上村克郎、早大 神山 一、国鉄 野口 功）	
17.40～17.50	挨拶	副会長	

4. 論文集：B5 オフセット印刷 定価：400 円

5. 申込先：東京都中央区日本橋本町 3-5 ワカ末ビル ケンメイヤー技術 KK・日本 A.C.I. 事務局（電話 270-3067）

関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーションビル 4 階)
電、大阪 (716) 7881 番 内線 336 番、振替口座大阪 82599 番

(1) 滋賀県における最近の諸問題についての講演会

- 共 催：滋賀県建設協会・土木学会関西支部
1. 日 時：1964 年 12 月 4 日(金) 13 時～17 時
2. 場 所：滋賀会館中ホール 電、大津 (2) 0992 番 大津市東浦一番町 国鉄大津駅下車南徒歩 5 分県庁前
3. 題目と講師：
- | | | |
|-------------|------------------|----------------------|
| 13.10～14.00 | 1. 滋賀道路計画の基本について | 京都大学工学部教授 工博 米 谷 栄 二 |
| 14.00～14.50 | 2. 瀬田川洗ぎの今昔 | 近畿地建琵琶湖工事々務所長 稲 田 裕 |
| 14.50～15.40 | 3. 琵琶湖大橋について | 滋賀県琵琶湖大橋建設室長 三 露 嘉 郎 |
4. 映 画：15.50～16.50 ① 大いなる黒部 16 ミリカラーシネスコ 50 分 ② その他
5. 聴 講：無料，来聴歓迎
6. 定 員：300 名
7. 懇 親 会：12 月 4 日 17.00～18.00 滋賀会館ロビー 定員 50 名 参加費 800 円
懇親会参加希望者は 1964 年 11 月 20 日(金)までに勤務先，連絡先，氏名を明記のうえ参加費 800 円を添えて下記へ申し込んで下さい(土木学会関西支部では受けません)。
参加証をお送りします。納入された代金は返戻いたしません。
8. 申 込 先：大津市東浦一番町 滋賀県土木部河港課内講演会係 電、大津 (2) 1121 番

(2) 学生のための映画会(第 7 回)

1. 日 時：1964 年 12 月 12 日(土) 14 時より
2. 場 所：京都大学工学部土木総合館 201 号室 電、京都 (77) 8111 番 京都市左京区吉田本町 市電百万遍下車
3. 上映映画：かくて 200 万の足は動く(40 分) 大阪の足をまもって 60 年(カラー 30 分) 若返る街(カラー 40 分)
新しい街造り(20 分) 小河内ダム(カラー 40 分)
4. 定 員：150 名(満員の節はお断りすることがあります)
5. 参 加 費：無料，正会員の方の参加も歓迎します。

(3) 「土質試験法」「土質調査法」講習会

- 共 催：土質工学会本部・土質工学会関西支部
協 賛：土木学会関西支部
1. 期 日：1964 年 11 月 26 日(木) 27 日(金)の両日
2. 場 所：大阪府職員会館 電、大阪 (941) 0351 番 大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏
3. 題目および講師：

第 1 日午前(11 月 26 日 9 時 30 分より)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 土質試験法概説 | 東大生研 三 木 五三郎 |
| 2. 調料のとりあつかいと調製 | 阪 大 伊 藤 富 雄 |
| 3. 土の基本的性質に関する試験 | 〃 |
| 4. 粒度試験 | 武蔵工大 神 山 光 男 |
| 5. コンシステンシー試験 | 〃 |
| 6. 締固め試験 | 神 大 谷 本 喜 一 |

第 1 日午後(11 月 26 日 13 時より)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 7. CBR 試験 | 神 大 谷 本 喜 一 |
| 8. 締固めて作る安定処理土の一軸圧縮試験 | 〃 |
| 9. 透水試験 | 阪 市 大 三 笠 正 人 |
| 10. セン断試験 | 〃 |

第 2 日午前(11 月 27 日 9 時より)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 11. 土質調査法概説 | 建設省 福 岡 正 巳 |
| 12. 地盤構造概説 | 阪 市 大 竹 中 準 之 介 |
| 13. 物理探査法 | 〃 |
| 14. サウンディング | 〃 |

15. サンプルング
16. 原位置での単位体積重量試験
17. 現場締め固め試験

阪市大 竹中 準之介
大林組 福住 隆二

第2日午後(11月27日 13時より)

18. 載荷試験
19. 基礎ゲイの試験法
20. 土圧計ならびに土圧計測法
21. 間ゲキ水圧計ならびに間ゲキ水圧計測法
22. 傾斜, 沈下, ヒズミなどの測定

京大 赤井 浩一
名大 市原 松平
日本道路公団 稲田 倍穂

4. 定 員: 400 名
5. 参 加 費: 400円(共催, 協賛団体会員) 非会員 800 円
6. テキスト: 土質試験法(563 ページ) 会員 1200 円 非会員 1400 円
土質調査法(439 ページ) " 1100 円 " 1300 円
当日会場で頒布しますから希望者は土質工学会関西支部へ予約しておくこと(代金当日拝受)
7. 申込期限: 1964 年 11 月 21 日(土)
8. 申込方法: 参加希望者は連絡先, 氏名, 所属団体およびテキストの要否を明記のうえ参加費を添えて土質工学会 関西支部へお申し込み下さい(土木学会関西支部では受付いたしません)。
9. 申 込 先: 大阪府都島区東野田町9 大阪大学工学部構築工学教室内
土質工学会関西支部 電, 大阪(351) 6351 番 内線 226 番

(4) 第7回溶射技術講演および研究発表会

1. 共 催: 日本溶射協会・日本機械学会関西支部・金属表面技術協会関西支部
2. 協 賛: 日本建築学会近畿支部・日刊工業新聞大阪支社・土木学会関西支部
3. 期 日: 1964 年 11 月 19 日(木), 20 日(金), 21 日(土)の3日間
4. 場 所: 大阪府立工業奨励館講堂 電, 大阪(441) 4755 番 大阪市西区江の子島上の町 市電川口町下車東 100 m
5. 題目と講師:

第1日(11月19日)

- 9.50~11.00 1. 金属性質
11.00~12.10 2. 金属溶射特質
12.10~12.40 討 論 会
13.30~17.00 研究発表 4題

阪大名誉教授 工博 多賀谷 正義
府大工業短大教授 工博 美馬 善文

第2日(11月20日)

- 9.30~10.40 3. 硬質合金の溶射について
10.40~11.50 4. セラミックの溶射について
11.50~12.20 討 論 会
13.10~17.00 研究発表 4題

鉄鋼短大教授 工博 伊佐 重輝
通産省工業技術院技官 工博 加藤 健

第3日(11月21日)

- 9.30~10.40 5. 最近の外国における溶射の実状
10.40~11.00 研究発表 2題
11.00~12.30 実演, 展示

茨木大教授 工博 長坂 秀雄

4. 定 員: 150 名
5. 聴 講 料: 無 料
6. 教 材: 2500 円(当日拝受)
7. 申込期限: 1964 年 11 月 5 日(木)
8. 申込方法: 参加希望者はハガキに「第7回溶射技術講演会」と題記, 住所, 勤務先, 所属部課名所在地, 通信先および氏名を明記のうえ日本溶射協会へお申し込み下さい(土木学会関西支部では受付いたしません)。
聴講決定者には聴講券をお送りしますから来聴の際はご持参下さい。
9. 申 込 先: 尼崎市西昆陽 鉄鋼短期大学内 日本溶射協会 電・大阪(401) 4388 番 内線 52 番

第 11 回風に関するシンポジウム開催

標記のシンポジウムは下記の要領により開催しますので多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

1. 期 日：1964 年 12 月 15 日（火）
2. 会 場：気象庁講堂（東京都千代田区大手町 1 の 7）
3. 共 催：日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・日本地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会・土木学会（幹事学会）

中国四国支部行事案内

（広島市八丁堀 122 番地・水野組広島事業本部内 電・広島 21—5131）

（1）中国四国支部第 16 回学術講演会（昭和 39 年度）

1. 日 時：1964 年 12 月 2 日，3 日 9.30～17.00
2. 場 所：高知県庁前農協会館 6 階ホール（高知駅前発私鉄電車乗車ハリマヤ橋乗換 蛸橋行県庁前下車）
3. 講演題数：25 題 1 題につき 15 分
特別講演 高知県土木部長 別 所 正 夫
高知大学教授 沢 村 武 雄
高知県立図書館長 示 野 昇
4. そ の 他：講演概要ご希望の方は会場において 100 円でお渡しいたします。

（2）第 4 回見学会

1. 日 時：1964 年 12 月 4 日 9.00～17.00
2. 行 程：高知県庁前（9.00）—安田町—魚梁瀬ダム—奈半判町—高知県庁前着（17.00）
3. 参 加 費：200 円
4. 申込期限：1964 年 11 月 15 日
5. 申込要領：広島市八丁堀 122 番地水野組内・土木学会中国四国支部

西部支部行事案内

（福岡市渡辺通り 2 丁目 九州電力KK土木部内 電・福岡 76—3031）

西部支部研究発表会および総会（昭和 39 年度）

1. 開 催 日 時：1965 年 1 月 27 日（水）9.00～17.00
2. 開 催 場 所：福岡市中島町 明治生命ビル
3. 発 表 申 込：発表希望者は 1964 年 11 月 25 日までに勤務先、氏名、講演題目を支部に申し込んで下さい。
4. 講 演 時 間：1 題につき 20 分（質問時間をふくむ）
5. 原稿提出要領：
 1. 原稿はオフセット印刷にしますから、発表申込者には支部から原稿用紙を送ります。
 2. 原稿用紙は 40×37＝1480 字詰、1 題 4 ページまでとし超過分は 1 ページにつき 2000 円申受けます。
 3. 原稿締切は 12 月 25 日までに支部に必着するよう提出して下さい。
 4. 増刷は 20 部さしあげます。以上入用の方はその旨原稿送付の際付記して下さい実費を申受けます。
6. 総 会 開 催：来年 5 月開催の土木学会大会準備などのため本年度総会を上記研究発表会終了後開催します。
本会誌発表をもって総合案内といたしますので会員多数ご出席下さい。
7. 連 絡 先：福岡市渡辺通 2 九州電力土木部内 電話（76）3031